

森林研修所ニュース

平成25年4月
No.64

森林技術総合研修所における 平成25年度の研修概要

森林技術総合研修所では、森林や林業・林産業に関する最新の知識・技術についての講習を行い、森林・林業技術者の資質の向上を図っています。

平成25年度は、2、3ページに示した63コースを用意しました。現場技術の向上を目指して、現地実習に重点をおき、適切な時期を選んで研修を行います。



植物標本作成実習
(森林総合利用Ⅱ研修)

治山・林道関係研修については、森林土木を履修していない国や都道府県の技術者が増加していることに対応して、地形・地質の見方等の基礎知識や調査・測量・設計等の実習を主体とし、治山関係研修では、前年度3コースだったものを4コースに増やすとともに、林道関係研修では、前年度5日間だったものを10日間に拡充します。

林業機械化関係研修では、高性能林業機械の安全衛生特別教育の制度化に対応し、同特別教育に位置付けられる車両系林業機械特別教育研修を実施します。この研修は、定員40人で、都道府県職員等を対象とし、実技を林業機械化センターで、学科を高尾の本所で行います。

木材関係研修では、建築物への木材利用促進のため、公共建築物等木材利用促進研修を新たに実施します。この研修は、建築士の方々に、木材をふんだんに使用した建築物を設計してもらうため、大規模木造建築物の設計や木材を内装等に利用した設計に必要な知識・技術を習得していただくものです。



林道測量実習

また、昨年度の受講者が多かった木材産業・木材利用研修については、基礎知識編と実践編の2回に分けて行うこととします。

森林保護関係研修では、病虫害編と獣害編に分け、獣害編において、大問題となっているシカ食害の対策等を拡充します。

研修実施に当たっては、昨年の研修生のご意見等を踏まえ、種々の改善をしていきます。各機関の研修担当の方々におかれましては、研修生の積極的な派遣について御検討をお願いします。





平成25年度 研修一覽



准フォレスター研修支援シリーズ（知識や技術を補強したい准フォレスターにも適した研修。）

研修の名称	対象者	実施時期	定員	日数
森林計画	地方公共団体及び森林管理局担当職員等 (業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)	7/2-7/5	30<10>	4
市町村林務担当者基礎	市町村担当職員	6/24-6/28	30	5
生物多様性保全Ⅰ(技術)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	11/18-11/22	20<14>	5
生物多様性保全Ⅱ(制度)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	10/29-11/1	20<14>	4
森林調査	地方公共団体及び森林管理局担当職員等 (業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)	12/10-12/13	30<14>	4
森林施業技術	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	9/9-9/13	25<14>	5
森林保護管理Ⅰ(病虫害)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	9/25-9/27	35<10>	3
森林保護管理Ⅱ(獣害)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	10/28-11/1	35<10>	5
森林総合利用Ⅰ (森林環境教育企画者育成)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等 (実際に森林環境教育等の業務に携わっている者)	7/8-7/12	30<14>	5
森林総合利用Ⅱ (森林環境教育指導者育成)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	9/30-10/4	30<14>	5
森からの産物	地方公共団体担当職員等	9/9-9/13	38	5
山村・都市連携・協同型地域作り	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	1/28-1/31	47<7>	4
森林整備事業	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	11/11-11/15	30<7>	5
チェーンソー伐木造材技術ⅰ	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	6/10-6/14	20<10>	5
チェーンソー伐木造材技術ⅱ	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	6/17-6/21	20<10>	5
チェーンソー伐木造材技術ⅲ	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	7/8-7/12	20<10>	5
木材産業・木材利用Ⅰ(基礎知識)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等(初任者レベルの者)	6/17-6/21	25<5>	5
木材産業・木材利用Ⅱ(実践)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等(初任者レベルの者を除く。)	11/25-11/29	25<5>	5
フォレスター育成技術	森林管理局准フォレスター研修担当職員等	5/27-5/31	42<42>	5

治山・林道シリーズ

研修の名称	対象者	実施時期	定員	日数
治山(基礎知識・施設計画)ⅰ	地方公共団体及び森林管理局担当職員等 (業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)	6/4-6/14	30<10>	11
治山(基礎知識・施設計画)ⅱ	地方公共団体及び森林管理局担当職員等 (業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)	7/16-7/26	30<10>	11
治山(調査・測量・設計)ⅰ (旧森林土木技術者育成実務 [後半])	地方公共団体担当職員等(業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)・森林管理局担当職員(治山・林道(通信研修)を終了した森林官等及び初任の森林管理署等治山・土木担当者)	8/26-9/6	25<5>	12
治山(調査・測量・設計)ⅱ (旧森林土木技術者育成実務 [後半])	地方公共団体担当職員等(業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)・森林管理局担当職員(治山・林道(通信研修)を終了した森林官等及び初任の森林管理署等治山・土木担当者)	9/30-10/11	25<5>	12
治山(中堅)[地すべり]	地方公共団体及び森林管理局担当職員等 (業務担当経験総年数おおむね5年以上の者)	11/18-11/22	30<10>	5
林道技術者育成ⅰ (旧森林土木技術者育成実務 [前半])	地方公共団体担当職員等(業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)・森林管理局担当職員(治山・林道(通信研修)を修了した者等及び初任の森林管理署治山・土木担当者等)	5/22-5/31	20<7>	10
林道技術者育成ⅱ (旧森林土木技術者育成実務 [前半])	地方公共団体担当職員等(業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)・森林管理局担当職員(治山・林道(通信研修)を修了した者等及び初任の森林管理署治山・土木担当者等)	7/31-8/9	20<7>	10
林道技術者育成ⅲ (旧森林土木技術者育成実務 [前半])	地方公共団体担当職員等(業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)・森林管理局担当職員(治山・林道(通信研修)を修了した者等及び初任の森林管理署治山・土木担当者等)	10/16-10/25	20<5>	10
森林作業道作設指導者・監督者	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	9/24-9/27	40<10>	4

森林保全シリーズ

研修の名称	対象者	実施時期	定員	日数
保安林及び林地開発許可ⅰ	地方公共団体及び森林管理局担当職員等(初任者レベルの者)	7/29-8/2	61<14>	5
保安林及び林地開発許可ⅱ	地方公共団体及び森林管理局担当職員等(初任者レベルの者)	12/2-12/6	61<14>	5
放射線の基礎知識	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	10/21-10/25	38<14>	5

林業機械化シリーズ

研修の名称	対象者	実施時期	定員	日数
チェーンソー指導者技術向上	地方公共団体担当職員等(伐木造材の指導者)	7/16-7/19	10	4
車両系林業機械特別教育 i (前期・実技)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	9/9-9/13	10<3>	5
車両系林業機械特別教育 ii (前期・実技)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	10/7-10/11	10<3>	5
車両系林業機械特別教育 iii (前期・実技)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	11/11-11/15	10<3>	5
車両系林業機械特別教育 iv (前期・実技)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等	11/18-11/22	10<3>	5
車両系林業機械特別教育(後期・学科)	地方公共団体及び森林管理局担当職員等 (車両系林業機械特別教育(前期実技)終了者のみとし当学科受講者は修了証書の交付を受けることができる。)	2/3-2/5	40<12>	3
高性能林業機械作業システム	地方公共団体担当職員等 (林内作業車安全衛生教育終了者相当レベル)	9/25-10/4	15	10
集材架線	地方公共団体担当職員等	5/27-6/5	15	10
路網整備技術指導者 i	地方公共団体担当職員等(機械指導担当初任者)	6/24-7/5	10	12
路網整備技術指導者 ii	地方公共団体担当職員等(機械指導担当初任者)	11/25-12/6	10	12
路網整備専門 i	地方公共団体担当職員等(車両系建設機械技能講習修了者相当レベル)	7/22-8/2	15	12
路網整備専門 ii	地方公共団体担当職員等(車両系建設機械技能講習修了者相当レベル)	8/26-9/6	15	12
路網作設実践	関係団体構成員等	10/21-11/1	15	12

基本教育シリーズ

研修の名称	対象者	実施時期	定員	日数
林業機械体験	関係団体の構成員(学生)	8/5-8/8	25	4
公共建築物等木材利用促進	関係団体の構成員(建築士、建築系学生)	1/21-1/24	30	4
総合職新採用	平成25年度国家公務員総合職採用職員	4/15-4/19	10	5
森林技術者ステップアップ	林野庁・森林管理局職員等で4Gの職員及び都道府県係長級(国家公務員4G相当)の職員	11/11-11/15	30<7>	5
持続可能な森林経営のための推進手法の向上	海外からの研修員	8/28-11/1	12	66

職員能力強化シリーズ

研修の名称	対象者	実施時期	定員	日数
署長研修	研修規程第13条第2項第1号に掲げる職員(新任者)	5/15-5/17	21	3
発注者網紀保持	森林管理局契約発注担当職員等 (業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	7/3-7/5	21	3
安全衛生管理	森林管理局及び森林管理署等の健康安全管理に関する指導を担当する職員等 (業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	6/11-6/14	14	4
不動産・森林活用	森林管理局鑑定官、計画処分及び貸付担当職員等	7/8-7/12	28	5
生産・販売(基礎)	森林管理署等の取組・生産・販売担当職員 (業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	6/17-6/28	20	12
生産・販売(実務) i	森林管理署等の取組・生産・販売担当職員 (業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	7/22-8/2	10	12
生産・販売(実務) ii	森林管理署等の取組・生産・販売担当職員 (業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	8/26-9/6	10	12
情報処理 I (刷新システム等技術者養成)	森林管理局の情報処理担当職員等 (業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	2/4-2/7	14	4
情報処理 II (森林GIS技術者養成)	森林管理局の情報処理担当職員等 (業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	1/29-1/31	14	3
GNSS測量等技術者養成 (人工衛星による測量)	森林管理局測定業務担当者等 (業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	12/11-12/13	20	3
流域管理・国有林准フォレストアーフォローアップ	森林管理局担当職員(活動実施中の国有林准フォレストアー)	11/25-11/29	20	5
民有林施策	森林管理局担当職員(平成25年度准フォレストアー研修受講予定者)	5/20-5/22	50	3
通信研修 I (森林活用)	森林管理署担当職員等	6/1-3/23	(40)	10ヶ月
通信研修 II (治山・林道)	森林管理署担当職員等	6/1-3/23	(50)	10ヶ月

定員欄の△は国有林野事業職員で内書 定員欄の○は通信研修で外書





研修報告



放射線の基礎知識研修に参加して



福島県 農林地再生対策室 蓮沼正将

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、各地の森林、林産物等は放射性物質で汚染され、日常生活に多大なる影響を与えています。特に私の生活する福島県においては林業等の生産活動、森林での野外活動の制限や風評被害などにより甚大な被害を受けており、県民が一丸となって森林の除染及び林産物の放射性物質対策等に取り組んでいるところです。

しかし、除染や放射性物質対策は新たな取組であり積み重ねられた知見もなく、業務を進める上で難しい課題も数多くあります。そのため、業務を円滑に遂行することを目的に、私もこの研修に参加させていただくこととなりました。

研修では、森林の除染、林産物の放射性物質対策、森林作業者の放射線障害防止対策、森林内の放射性物質の挙動など、森林内の放射性物質対策を総合的に研修する良い機会となりました。

講義の中では林野庁が考える新たな施策や放射性物質の挙動に関する将来予測など新たな知識を身に付ける良い機会となりました。

また、全体討議では、各都道府県及び各森林管理局等の職員がそれぞれの課題について討議を行いました。討議の中では、福島第一原子力発電所が立地する福島県及びその周辺市町村では除染等の課題があるのに対して、東北及び関東以西の地域においては、きのこ栽培のための原木供給不足等の課題が提起されておりました。今回の意見交換は全国の職員が各地における課題を共有できる良い機会になったと考えます。

放射線の基礎知識研修については、4日間という短い期間ではありましたが、環境省、林野庁及び研究機関等から専門家の先生が講師となり最先端の取組を知ることができ、有意義な研修となりました。今後は、この研修で学んだ知識を現場で生かして、県民の不安を払拭できるような業務の遂行を目指していきたいと思います。



講義風景

冬山研修、無事終わりました！



林業機械化センター

林業機械化センターでは、平成24年度、初めて冬期に研修を行いました。当センターの所在地である沼田市根利地区は、研修期間中の気温が連日氷点下になるところです。職員一同は、寒風吹きすさぶ中、寒さに耐えながら研修遂行に頑張りました。

平成24年度は、「チェーンソー伐木造材技術Ⅱ」（1月21日～25日）、「林業事業体安全指導者育成」（1月28日～31日）、「チェーンソー伐木造材技術Ⅲ」（2月4日～8日）、「林業機械基礎」（2月20日～22日）の4研修について、天候等に配慮しながら研修生の安全を第一に考えて実施しました。

夏期の研修では当センターから約30分ほどかかる実習林を活用できましたが、冬期は除雪が不可欠であること、初の冬期研修であることから、不測の事態等も考慮して当センターの裏山で実施することとしました。

当センターは、赤城山北面の比較的高い場所にあるため、冬期の天気が変わりやすく、今回の冬期研修では、突然の降雪や強風などのために予定していた現地実習ができなくなるなどカリキュラムどおりにならないことがあり、大変苦労しました。

しかし、研修生に少しでもチェーンソーや高性能林業機械の運転体験を積んでいただくため、アイデアをこらしました。例えば、丸太にドリルで穴を開け、そこに市販されている丸材を差し込むことで枝付き材を再現し、これを用いて、事務所前の広場において枝払い体験を行いました。このほか、かかり木の落下、プロセッサ回転時の接近作業、チルホールによる内角作業の危険性の検証等を行い、実際の現場で指導助言ができるよう考慮しました。



アタッチメント説明



再現した枝付き材を用いた枝払い

研修生からは、「もう少し現場で伐倒したかった」「冬山での研修は無理がある」「ものすごく寒かった」等の声がある一方、「今までにない充実した研修だった」「天候により研修内容が変更になったが、臨機応変の対応が素晴らしかった」「伐倒の危険さを身を持って感じた」「機械化指導官の指導が熱心で感動すら覚えた」等の声もありました。我々職員は、こういった声に応え、初の冬期研修で培った知識や経験を今後の研修に活かし、更なる研修のレベルアップにつなげたいと考えています。

宿泊施設「愛機荘」については、初の冬期使用において、凍結による水回りのトラブル、食堂が寒かったこと、お湯が出なかったことなど研修生に不便をかけたことが多々ありました。施設管理については、今後の課題として検討していきます。

最後に、平成24年度の研修を無事に終了できたことにつきまして、関係各位のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

○冬山研修は、ものすごく寒かったです・・・。（職員一同）



養成研修 専攻科52期

課題研究発表会の開催



「養成研修専攻科52期課題研究発表会」が去る2月22日、農林水産省本館7階の第3特別会議室において開催されました。

専攻科における課題研究は、研修の一環として研修生自ら課題を設定し、現状の把握・問題点の分析を行い、解決策を導き出すために、これまでに学習したあらゆる知識、体験、手法等を駆使し取り組むものです。

この度の発表会では、業務多用の中、林野庁長官をはじめとする幹部や、森林・林業関係団体の方々にも出席いただき、いつもにも増して緊張した面持ちの研修生でしたが、皆しっかりと、1年間の研究の成果を発表しました。



発表風景



助言者からコメントをいただく研修生

研修生全員の発表の後、これまで数度にわたり、研究者の立場からの確なる御指導をいただいた(独)森林総合研究所多摩森林科学園の吉丸園長より、論文完成へ向けての暖かいアドバイスと励ましのお言葉を賜りました。

52期の研修生達は、4月から新しい任地へと巣立ちましたが、研修所で学んだ1年間を糧に、今後、益々高く羽ばたいてくれることを研修所職員一同、期待しております。

今後とも、皆様の御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



課題研究発表会内容

番号	課題名	発表者
1	森林体験学習の効果について ～間伐体験をした生徒は今…～	田中 健
2	小学校で求められている森林環境教育 ～事例を基にした聞き取り調査から～	藤井裕樹
3	学校林活動の活性化に向けた地域連携について	木村研士
4	スキー場跡地の森林再生について	松橋良之
5	地域ボランティアによるブナ林再生についての一考察	深川勝彦
6	将来の森林の姿についての一考察	大倉伸悠
7	外国樹種についての一考察	佐藤 将
8	広葉樹二次林の木材利用の可能性について ～能代周辺を例として～	杉澤 寿
9	監督員のための森林作業道の線形・構造のチェックポイント ～路面水の排水に着目して～	田中 忠
10	集約化施業を推進するための方策とは ～集約化施業推進地区での一事例～	川野 敬
11	高性能林業機械導入等から見た労働災害の現状と今後の安全対策	寺崎政博

平成24年度 専攻科生(52期生)

卒業にあたって



大倉 伸悠
(近畿中国局奈良所)

経験したことのない幅広い知識や技術を身に付けることができたのは間違いありません。ここで得たものを後の職場で発揮してこそ、研修の恩恵を存分に感じるができると思います。周囲の常識にとらわれず、幅広い視野をもって取り組むことを目標に精一杯頑張ってきました。



川野 敬
(関東局治山課)

専攻科研修では様々な分野の知識や技術を学習させていただきました。この経験を活かし、さらに成長できるように今後も克己心を持って業務を遂行してまいります。
1年間大変お世話になりました。



木村 研士
(東北局遠野支署)

専攻科研修では、講義や実習を通じて多くの知識や技術を学ぶことができました。
今後はその知識や技術を現場の中で発揮できるよう、積極的に行動に移していきたいと思っています。



佐藤 将
(東北局岩手南部署)

早いもので専攻科に来てから一年が経ちます。様々な研修を受講させていただきましたが、改めて自分の知識・技術の無いことを実感しました。今後は研修で学んだことを少しでも現場でいかせるように努力したいと思っています。



杉澤 寿
(東北局庄内署)

長いようで短い1年間でした。思い起こせば大変な日々でしたが、講師の方々や専攻科の先輩など皆様のおかげで、当初、専攻科を受けるにあたっての抱負に書いた、仕事に向かうための「背骨」を作ることができました。御指導ありがとうございました。



田中 健
(林業機械化センター)

専攻科研修を通じ様々な知識の種を集めさせていただきました。この種を各地域でまき育てていきたいと思えます。
今後もこの11名と切磋琢磨し、より国民に役立つ業務を遂行してまいります。



田中 忠
(東北局久慈支署)

この1年、色々なことがありました。その中で公私にわたり諸先生方に御指導いただき、とても成長した1年になったと思います。
今後の目標は、具体的に実行可能な目標を立て、日々の業務に緊張感をもって取り組むことです。



寺崎 政博
(北海道局根釧西部署)

専攻科研修では講義等で学んだ知識だけでなく、多くの方との交流を通じ情報交換できたことで私自身を大きく成長させていただきました。
今後も、専攻科で学んだことに満足せずに新たな知識、見聞を広めていきたいと思えます。



深川 勝彦
(北海道局網走中部署)

この一年間、専攻科研修で様々な講義、実習等を受けられたことに感謝しています。
今後も、学ぶことを続け、学んだ多くの知識や技術を業務に活かせるよう頑張りたいと思います。



藤井 裕樹
(近畿中国局福井署)

この一年間で培った知識や経験を基に積極的に行動し、自分の考えを持って今後の業務に取り組んでまいります。
御指導いただきました皆様、専攻科研修に送り出して下さった皆様に感謝申し上げます。



松橋 良之
(東北局下北署)

この1年間の専攻科研修では、講義や実習を通じて幅広い分野の知識や技術を学ぶことができました。今後はその知識や技術を現場業務で活かせるように努めてまいります。
御指導いただきました皆様に感謝申し上げます。



人事異動

転出（平成25年4月1日付）

国立大学法人 岡山大学 花岡 千草（森林技術総合研修所長）
林野庁 国有林野部 管理課 課長補佐（施設営繕班担当） 坂井 康宏（総務課長）
東北森林管理局 計画保全部 藤里森林生態系保全センター 生態系管理指導官 滝澤 久崇（教務指導官）
関東森林管理局森林整備部企画官（技術開発・普及担当）（利根沼田森林管理署駐在） 橋本俊夫（経営研修課研修企画官）
林野庁 林政部 経営課 経営対策官 深澤 智生（技術研修課 研修企画官）
農林水産大臣官房 検査部 検査課 検査官 山部 裕一（技術研修課 研修企画官）
関東農政局 総務部 検査課 審査第2係長 佐々木 睦子（経営研修課 調整係長）
関東森林管理局 利根沼田森林管理署 首席森林官（月夜野・相保） 永町 博満（林業機械化センター機械化指導官）
環境省 北海道地方環境事務所 国立公園・保全整備課 用地・国有財産専門官 荻野 周（総務課 庶務係長）
林野庁 森林整備部 研究指導課 技術開発班 開発係長 丸橋 宗寿（技術研修課 実施係長）
林野庁 国有林野部 業務課 特別災害技術班 事業係長 佐藤 剛（林業機械化センター 機械化研修係長）
関東森林管理局 東京神奈川森林管理署 総務グループ 藤井 幸（技術研修課 調整係）

転入（平成25年4月1日付け）

森林技術総合研修所長 木下 喜博（関東森林管理局 次長（東京事務所長））
教務指導官 福嶋 貢史（関東森林管理局 伊豆森林管理署 次長）
教務指導官 林田 栄（関東森林管理局 計画部 森林技術センター 所長）
経営研修課 研修企画官 加利屋 義広（林野庁 森林整備部 整備課 林道事業班 林道改良係長）
技術研修課 研修企画官 豊田 康成（林野庁 国有林野部 職員・厚生課 共済組合業務班 事業第2係長）
総務課 庶務係長 西村 雅也（林野庁 国有林野部 職員・厚生課 総務班 庶務係長）
技術研修課 研修企画官 佐藤 睦（環境省 中部地方環境事務所 生物多様性保全企画官）
技術研修課 実施係長 須田 茂治（環境省 北海道地方環境事務所 国立公園・保全整備課 用地・国有財産専門官）
林業機械化センター 機械化指導官 富元 雅史（中部森林管理局 木曾森林管理署南木曾支署 蘭森林事務所森林官）
林業機械化センター 機械化研修係長 川口 大介（中部森林管理局 富山森林管理署 立山森林事務所森林官）

内部異動（平成25年4月1日付け）

総務課長 油井 章次郎（教務指導官）
経営研修課 調整係長 玉木 泰政（関東森林管理局 総務課付 兼経営研修課）
総務課 会計係 岩崎 諭（関東森林管理局 総務課付 兼総務課）



【 連絡先 】

森林技術総合研修所 http://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuuu_zyo.html
〒193-8570 東京都八王子市廿里町1833番地94
TEL 042-661-7121（代表） FAX 042-661-7314

林業機械化センター http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikai/kikai_ka_senta.html
〒378-0312 群馬県沼田市利根町根利1445
TEL 0278-54-8332（代表） FAX 0278-54-8280